北九州市議会議員 大久保むが 市政レポート

MUGA TIMES



【発行日】 2015年7月27日 【発行人・編集人】 大久保むが

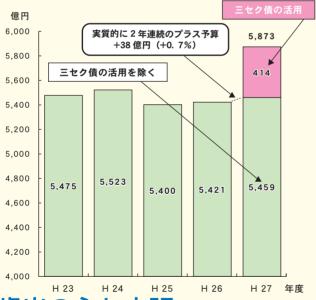


過去最大規模の予算

平成27年度予算の審議を行う、平成27年6月定例会が開かれました。本来であれば予算の審議は年度が変わる前の2月~3月に行われますが、本年1月に行われた北九州市長選挙の関係で4月~6月は暫定予算、7月から本予算という流れになりました。

さて今回示された予算では、北橋市長3期目の最初の予算として注目されていますが、港湾整備特別会計の土地の埋め立てと売却に関する部分を清算することに関わる予算編成の関係で、規模としては過去最大になりました。(※中面に詳しく解説)

<一般会計の予算規模の推移>



歳出の主な内訳

- ○保健福祉費 1,525億円(対前年比+34億円⟨2.2%⟩増) ※国保特会、介護保険特会、後期高齢者医療制度関連の増
- ○子ども家庭費 609億円(対前年比+35億円(6.3%)増) ※子ども・子育て支援新制度関連事業等の増
- ○港湾費 465億円(対前年比+414億円(804.6%)増) ※港湾整備特別会計に係る三セク債の活用に伴い、特別 会計から分離、新設される埋め立て地造成特別会計へ の繰り出し金の増(※中面に詳しく解説)
- ○教育費 338億円(対前年比+38億円(12.8%)増) ※門司総合特別支援学校の新設整備、小中学校等空調設 備等の増

市が掲げる今年度予算の5つの柱

①『人にやさしい高齢・少子化対策の加速』

健康で長寿の社会づくりを目指し、地域の実情やニーズに応じたきめ細かな高齢者対策に取り組む。また、「子ども・子育て支援新制度」に基づき、子育て支援の充実と、学力向上対策などを推進。

「②『街に活力、更なる成長をもたらす地域経済対策の推進』

「北九州市成長戦略」に基づく各種政策の推進と、市民生活に身近な公共事業や消費喚起対策により、経済活性化を図る。

【③『魅力的な地域創造を推進』

地元企業の魅力と情報発信、若者就職の推進、子育て世帯の転入促進などで若者の定着を目指す。

④『環境未来都市の創造』

環境分野での国際貢献などの世界の環境首都へ向けた 取り組みの推進。

⑤『安全・安心を実感できるまちづくりの推進』

「北九州市安全・安心条例」に基づき、防犯対策や防災対策を推進。

市債発行は1,038億円

先述の三セク債発行に伴い、市債発行額は対前年比393億円増の1,038億円に。

○臨時財政対策債を除く市債残高は7952億円(対前年比 275億円増)

○臨時財政対策債と三セク債を加えた市債残高は1兆 650億円(対前年度比501億円増)

※臨時財政対策債(臨財債)とは、国の地方交付税への財源不足対策として、平成 13年度に創設された地方債。その元利償還金相当額については、全額が後年度 地方交付税で措置される。

一般会計市債残高の推移



25年度までは決算、26年度は3月補正後、27年度は当初予算における年度 末残高見込み。

(17年度残高から、大学特別会計引継ぎ額を含む。27年度は三セク債を含む)

港湾整備特別会計が果たしてきた役割

市は港湾整備特別会計が近い将来、市 財政に影響を及ぼすことから、三セク債 を活用してその負担軽減を図ることにな りましたが、一方でこの港湾整備事業は 企業の進出やそれに伴う雇用の創出、設 備投資などの効果をもたらしているのも 事実です。



● 直接効果

- ・企業への土地売却件数 830件(昭和38年度~)
- ・企業立地による雇用創出 15.000人(平成24年度経済 センサス等)
- ・立地企業の税収効果 約1.500億円(昭和39年度~)
- ・立地企業の設備投資 約1.100億円(平成16年~)
- · 立 地 企 業 の 生 産 額 約1,300億円(年間)

◆ 推計される波及効果(北九州港全体)

- ・経済波及効果 約3兆4,600億円
- ・粗付加価値額 約1兆5.600億円
- ・雇用者誘発数 約14万人
- ・毎年の市税収入 約650億円



今後の港湾整備事業をどう考えるか?

港湾事業全体としては前掲のとおり一定の企 業誘致とそれに伴う雇用創出、さらに経済波及効 果や税収を生み出しているのは事実です。だから と言って特別会計が赤字となり一般会計からの 繰り出しをせざるを得ないことについて、この港 湾整備特別会計の清算が市の一般会計に少なか らず影響を与えることは事実です。このような事



態になってしまったことに対しては、埋め立て事業全体の見通しの 甘さを厳しく指摘せねばなりませんし、平成18年度に包括外部監 査の際に指摘を受けたにもかかわらず、埋め立て事業の健全化を果 たせずに三セク債をと用いて事実上の清算に至ったことは議会と しても反省せねばなりません。



これらの教訓を踏まえ、埋め立て事業については 一刻も早い土地の売却と企業立地を促進し、雇用の 創出などで市税収入を増加させることで一般会計へ の負担を減らすよう議会側としても働きかけを強め て参ります。

4.5.6月活動記録

4 月

- 1日 若手市議会議員の会まわり
- 2日 地域集会
- 3日 県議会議員選挙出発式
- 4~10H 地域集会
- 11日 統一地方選挙 県議選最終日
- 12日 統一地方選挙 投票日 則松市民センター改修式典
- 14日 会派団会議
- 15H 官営八幡製鉄所旧本事務所 眺望スペース内覧会
- 北九州スタジアム起工式 16H
- 18_H 党総支部常任幹事会 NPO法人 Kid'sWork理事会
- 19日 第31回的場池弓道場開設記念弓道大会 洞南4地区地域交流会
- 22日 経済港湾委員会
 - NPO法人 Kid'sWork理事会
- 24日 会派団会議
 - 北九州マネジメントクラブ勉強会
- 25日 統一地方選挙応援 北筑高校野球部後援会
- 27日 党福岡県連青年政治塾 打ち合わせ
- 28日 白石かずひろを励ます会
- 29日 メーテ
 - 入汀製菓丁場開き 北九州ドリームサミット運営会議
- 30日 党青年委員会

5 月

- 1日 NPO法人 Kid'sWork理事会
- 党福岡県連青年政治塾 開校式
- 6日 党福岡県連青年政治塾 2日目
- 7日 PTA役員会
- 8日 NPO法人 Kid'sWork理事会
- 9日 党県連常任幹事会
- 11日 党県連 青年委員会
 - 佐賀若者サポートステーション視察
- 経済港湾委員会 13⊟ 港湾施設視察
- 北九州マネジメントクラブ勉強会
- 16日 党福岡9区総支部常任幹事会 陣原ふれあいまつり
- 17日 地元グラウンドゴルフ大会
- 20日 経済港湾委員会 八幡ぎょうざ会議
- 22日 会派団会議
- 練習船「星雲丸」歓迎式典
- 23~24日 基幹労連ふれあい対話集会
- 24日 市民煎茶会 25日 地域花見会
 - 北九州マネジメントクラブ勉強会
- 27日 八幡西区城山視察
- 会派勉強会
- 30日 撥川ほたる祭り
 - 香月・黒川ほたる祭り
- 31日 折尾西小学校運動会 詩吟の会

6 月

- 1日 広島県尾道市 行政視察
- 2日 市議会6月定例会開会
- 3H 陳情対応
- 4日 陳情対応
- 6日 全国青年委員長·局長会議
- 7日 金山川清掃
- 第2回青年政治塾講義 野田前総理講演
- 9日 6月定例会 本会議 代表質疑
- 10~12日 6月定例会 本会議 一般質疑
- 12日 古典落語を守る会総会
- 13日 党県連常任幹事会
- 介護関係者会合
- 14日 市民センター祭り
- 15日 6月定例会 本会議 一般質疑
- 16~19日 6月定例会 予算特別委員会
- 20H 三橋貴明経済塾
- 22日 6月定例会 予算特別委員会 党県連青年委員会
- 24日 6月定例会 常任委員会 25日 6月定例会 予算特別委員会
- 北九州マネジメントクラブ勉強会 北九州港湾建設協会
- 26日 6月定例会 閉会
- 27日 党県連臨時大会
 - NPO法人 Kid'sWork総会·懇親会

分かりにくいから解説!

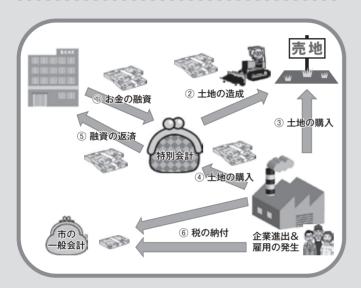
"『港湾整備特別会計』に係る第三セクター等改革推進債(三セク債)の活用"とは?

背景

企業誘致を効率的に行うためには、港湾や空港に加え、 基盤となる土地の造成、そこにかかわる道路やインフラの 整備が必要になります。

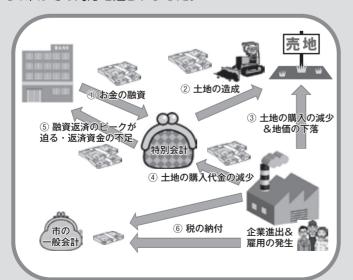
北九州市では、北九州港管理組合の事業を昭和49年に引き継いで以降、40年に亘り大規模な臨港型分譲地の整備を行ってきました。

つまり、銀行からのお金を借りて埋め立て事業を行い、 土地を売ったお金で埋め立て費用を返済していたのです。



*何が問題なのか?

しかし、バブル崩壊後の長引く不況、地価下落、リーマンショック、東日本大震災などにより、埋め立てた土地が売れなくなってしまいました。これまでは売却によって積み立ててきたお金を切り崩してきましたが、全ての土地を売却できたとしても、なお152億円が不足することが分かり、市はその対応を迫られました。

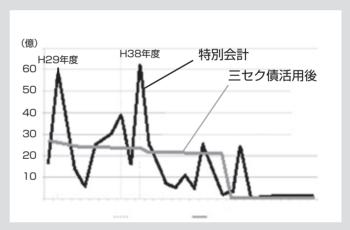


市は様々な収支の改善策を講じ、企業誘致は進みましたが平成29年度に61億円、平成38年度に63億円という大規模な返済のピークの時期が迫り、積立金の残高では返済不可能な事態になることが予想されていました。

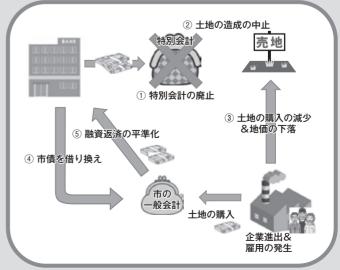
分かりやすくいうと、これまでは市の財布(一般会計)とは別の財布(特別会計)の中でやりくりを行っていました。しかし、この財布だけでは借りたお金を返すことが困難になってしまったという事です。

三セク債を活用するというのはどういう事なのか? **

債権(借金)の返済が滞ってしまうと、市全体の信用も落ちてしまい、市民サービスに大きな影響を及ぼしてしまいます。これを避けるために、特別会計の財布から土地の造成と売買に関する部分を切り離すことになりました。その上で国の制度を活用して毎年の返済額を平準化して市の一般会計(市の財布)に負担にならないようにしました。



つまり借金の借り換えで金利負担を減らし、毎年の返済額を一定にすることで市への負担を最大限軽減するというのが、"『港湾整備特別会計』に係る第三セクター等改革推進債(三セク債)"の活用ということなのです。













生年月日 昭和50年11月22日 現在39歳

枝光小学校・枝光北中学校(現枝光台中学校)・ 県立北筑高等学校を卒業

平成10年 九州国際大学 国際商学部 卒業

平成12年 北橋健治衆議院議員秘書

北九州市立大学 法学研究科(大学院)入学 平成18年

平成19年 大久保勉参議院議員秘書

平成20年 北九州市立大学 法学研究科 卒業 平成21年 市議選 初当選

市議選 2期目当選 平成25年

現在 民主党福岡県第九区総支部 常任幹事 ボランティア団体 KID's work スタッフ 民主党福岡県連青年委員長

■大久保むが事務所

〒807-0831

北九州市八幡西区則松2-9-2 Tel 093-863-5530 Fax 093-863-5531 http://www.mugamuga.net/ E-mail vahatanishi@mugamuga.net ■『北九州市が地域エネルギーの大拠点になる!?』

北九州市は、若松区響灘地区で北九 州市地域エネルギー拠点化推進事業と して、この地区でのエネルギー関連企 業の誘致や研究を後押ししています。 こうした取り組みの結果、世界最大級 の大型LNGタンカーが入港できる大 規模LNG基地、そしてそのLNGを 活用した大規模高効率火力発電(160 万kw)、また一年を通して安定した風



況の響灘地区は、日本でも数少ない洋上風力発電が可能な地域とされ、こ の地の利を活かした大規模な洋上風力発電の整備計画(最大70万 kw)が 進んでいます。この洋上風力発電は1基当たり2~3万点の部品が必要とな り、関連産業への波及効果も大きいことから、地域経済にも好影響をもた らすことが期待できます。

さらに隣接するハブポートで木材を輸入し、コークス工場で荷揚げされ る石炭と合わせて発電を行うバイオマス混焼施設(11.2万kw×2基)の環 境アセスメントが行われ、設置に向けて本格的な動きになっています。加 えて、石炭を混ぜず木材チップのみで発電を行うバイオマス専焼発電など の構想も進んでいます。



既に域内では陸上風力発電 (2000 k w×10基) や、太陽光発電 施設などが稼働しており、今後計画 されている新たな発電所などすべ ての施設が稼働すれば、この地区に 約250万 k w の発電が行われる巨 大エネルギー供給エリアが誕生す る事になります。

(ちなみに、北九州市内の電力消費 量は、約150万kwです。)



応援団活動支援のお願い

大久保むが応援団では、大久保むがの活動支援のため、個人寄付と応援団絆クラブの2 つの方法でのご協力をお願い致します。ご協力頂ける方は、下記2つの寄付の中から選ん でいただきお支えを賜りますようお願い申し上げます。

① 個人寄付

ゆうちょ銀行

·記号:17410 ·口座番号:83659011 ·名前:オオクボムガオウエンダン

(他金融機関からのお振り込みの場合)

·店名:七四八(ナナヨンハチ) ·店番:748 ·種目:普通預金 ·口座番号:8365901 金額の指定はございません。頂いた浄財の想いを受け、政治活動に活用させていただきます。

② 絆クラブ

毎月一口1,000円~の寄付をいただき、政治活動を安定的に行うことができるようにする ため、特定の企業や団体・特定の有力者からしがらみを受けることなく、幅広い皆様からの 浄財を頂くことで、自由な政治活動が出来ることを目指しております。

申込用紙は大久保むが事務所からお届け致しますので、下記までご連絡をお願い致します。

『申込方法』

事務所にお問い合わせ下さい Tel 093-863-5530

由込用紙を 送付させて頂きます ご記入の上 ご仮送下さい



手続完了

※①②ともに、頂いた浄財は応援団の活動資金として、市政レポートの作成や発送、市政報告会の会 場費などの費用として活用させていただきます。また、年1回の使途のご報告もさせて頂きます。

◎この市政レポートは、市議会各会派に交付される政務活動費と、皆様から頂いた寄付などにより作成しています。